

護る

陸前高田市立博物館収蔵資料の保存修復活動

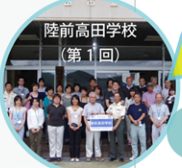
東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会（以下、救援委員会）の要請により、東京国立博物館と共に、陸前高田市立博物館収蔵資料の救援活動に赴いたのが2011年7月でした。陸前高田市立博物館では、全収蔵品 56 万点の内 46 万点がレスキューされ、JCP はその内拓本、書跡、水彩画・油彩画、民俗資料、地籍図、絵図、写真など多岐にわたる、拓本を除く、ほとんどの対象資料が県博内修復施設で処置されています。

※1号手県陸前高田市復興予算の委託事業として行われています。

拓本 安定化処置 修復拓本作製

仮設保存修復施設完成※1

水彩画・版画 / 7777画・油彩画
民俗美術 地籍図
調査 調査 調査
調査 調査 調査
調査 調査 調査



育む

陸前高田学校 (第2回)



陸前高田学校 (第4回)

繋ぐ

文化財危機管理における人材育成

JCP と東京国立博物館の共催による「文化財保存修復専門家養成実践セミナー」（詳しくはNPOJCP 活動紹介「育む」の応用編として、陸前高田市立博物館の仮設施設である旧生出小学校を会場とした「陸前高田学校」を開講しました。2016 年は東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター（山形県）との共催で、「文化財の危機管理セミナー」を開講しました。

※(独)日本芸術文化振興会芸術文化振興基金、(公財)文化財保護・芸術研究助成財団の助成を受けて行われました。

シンポジウムの開催

社会における「文化財」存在意義を認識し、文化財を支える「修復技術者」「保存専門家」の活動を伝えることを目的として、シンポジウム「今、文化財が社会にできること」、II を開催しました。



第II回 2014年4月で、民俗文化の継承に焦点を当て、有形無形の文化財保存と被災地の復興の試みをテーマとしました。

↑福島県飯館村の比曾芸能保存会による「三匹獅子舞」の演舞 ※朝日新聞文化財団の助成を受けて行われました。



NPOJCP 主催シンポジウム

NPO JCP 被災文化財救援募金

NPO JCP は、2011年4月21日より東日本大震災募金を開始しました。これまでの募金総額は **4,267,909** 円となり、多くの被災文化財を救援することができました。また修復に関わる資材や調達関係につきましてもたくさんの援助を賜りました。現在は名称を「NPOJCP 被災文化財救援募金」として継続しております。皆様から賜りましたご寄付は、東日本大震災、熊本地震および各地で頻発する災害に対応するために使わせて頂きます。皆様の暖かいご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

みずほ銀行
【支店名】根津支店
【口座番号】普通 1091862
【口座名義】特定非営利活動法人 文化財保存支援機構

3月11日 東日本大震災発生



文化財 ER 事業

2011年5月に宮城資料保全ネットワーク（東北大学）の要請により、岩手県大船渡市綾里C家の建具の調査に赴いたことをきっかけに、現地で3件のレスキュー活動を行いました。その後、救援委員会等を通じて預かった大量の被災資料を京都において保全処置を行う「被災文化財救援プロジェクト（ER プロジェクト）」を立ち上げ、JCP 関西支部と京都造形芸術大学（現：京都芸術大学）日本庭園・歴史遺産研究センター歴史遺産研究部門の共催で処置を行いました。作業は JCP 専門家と学生ボランティアによる協働で、水洗処置が中心です。一部資料については裏打などの修復も行いました。C 家の建具については、東北大学災害科学国際研究所の援助などを受けて本格修理を終えました。2016 年度からは、水洗作業を行うことが出来ない資料の処置、処置後の整理作業は歴史資料ネットワーク（神戸）の援助を受け継続しています。

※主に NPOJCP 被災文化財救援募金により行われています。修復処置に関しては、京都芸術大学や東北大学の資金援助を受けています。



建具処置中

2016

4月14日 熊本地震発生

熊本県被災文化財救出支援活動



↑資料の緊急措置 (風乾)

2016年に発生した熊本地震の被災文化財は、同年は文化庁のレスキュー事業として、その後は熊本県の事業として、救出・応急処置・整理・一時保管・返却が行われました。JCP では、17～18年の2ヶ年、救出文化財の応急処置・整理についての作業支援を行いました。



資料の緊急措置・整理風景

宮城県亘理町被災美術品修理

宮城県亘理町郷土資料館に寄託されている「江戸清吉コレクション」は、東日本大震災の津波で被災しました。JCP では、被災資料の内、著名人によるものを含む短冊帖の修理を請け負っています。

※宮城県亘理町の復興予算で行われています。



実践コース 文化財レスキュー 被災した文化財の第一次レスキュー (水損資料を中心に) ※オンライン配信

2019

10月12日 台風19号発生

川崎市市民ミュージアム 台風19号被災資料救援

台風 19 号により大きな被害を被った川崎市市民ミュージアムへ、国立文化財機構、文化財防災ネットワーク構成団体としてレスキュー支援に入りました。(2019年11月～) 2020年8月現在、レスキュー活動は継続して行われています。



※画像は川崎市報道発表より